

活動履歴と今後の予定

- 4/19 錦町東役員会
- 4/21 第1回理事会(オンライン)
- 4/25 北浜住宅役員会
- 5/7, 14 認定NPO法人申請にかかる実態確認
- 5/9 北浜住宅役員会
- 5/10 岩沼空き家活用検討WG
- 5/16 あすと第3みのり会役員会
- 5/17 熊ビル現地視察
- 5/19 第2回理事会(オンライン)
- 5/24 錦町東住宅定期総会
- 5/30 北浜住宅定期総会
- 6/6 事務所引っ越し
- 6/6 北浜住宅役員会
- 6/7 荒井東住宅定期総会
- 6/14 あすと第3みのり会定期総会
- 6/16 塩竈市ふれあいサポートセンターネットワーク会議
- 6/21 錦町東住宅役員会
- 6/28 つなセン第4回通常総会(ハイブリッド型)  
第16回つながりデザイン会議

あすと食堂  
お休み中です…。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、  
3月以降、あすと食堂は休止していました。  
7月の再開に向けて、  
感染防止ガイドラインの作成など、  
準備を進めています。

再開に  
ご期待  
ください!



入会のご案内/寄付のお願い

つなセンでは、あすと長町から始まり広がった復興コミュニティデザインの経験を、東日本大震災の被災地や熊本など他地域へ伝えるべく、活動しています。民間非営利の立場で、枠にとらわれずに機動的に活動を続けていくためには、皆様からの会費や寄付が大きな支えとなります。会員として、又は寄付を通じて、ぜひ応援をお願いいたします。

会員申込みやご寄付は、ネットからもお手続きいただけます。 <https://tsunacen.thebase.in/>

継続的に応援するには

- 正会員又は賛助会員にご入会ください。
- ・正会員:年間6,000円・総会議決権あり
- ・賛助会員:年間3,000円・総会議決権なし

寄付のお振込先

- 〈口座名義〉特定非営利活動法人つながりデザインセンター・あすと長町
- 郵便振替:02230-8-121908
- 銀行振込:ゆうちょ銀行 二二九支店(ニニキュウ) 当座預金 0121908

会員団体のみなさま

- @グリーン(宮城大学ボランティアサークル) 安全安心なまちづくり 一般社団法人日本で・あーて推進協会 SD不動産
- NPO法人アートワークショップすんぷちよ NPO法人クラブス NPO法人 仙台傾聴の会 NPO都市住宅とまちづくり研究所
- NPO法人東日本ネットワーク手にぎり隊 NPO法人 みやぎ「こうでねいと」 株式会社ミツイ 共立女子大学 高橋研究室
- グループひまわり CASEまちづくり研究所 高齢者配食サービス「ほっと亭」 今野不動産株式会社 仙台白百合女子大学 佐々木研究室
- 仙台南健康友の会 つばさ薬局長町店 東北工業大学 新井研究室 東北工業大学 谷本研究室
- 東北大学 東日本大震災PGT支援機構 東北福祉大学 平泉研究室 東北学院大学 坂本研究室 都市建築設計集団/UAPP
- 長崎大学安武研究室 宮城厚生協会長町病院 みやぎ生活協同組合 宮城大学 森本研究室 有限会社栗駒建業

役員名簿

- 代表:薄田 榮一
- 副代表:新井 信幸
- 理事:及川 多香子
- 理事:加藤 涉
- 理事:松原 久
- 理事:宮本 愛
- 監事:金沢 和樹
- 監事:佐々木 裕子

編集後記

新型コロナウイルスが世界中で猛威をふるう中、宮城県では4月28日以来、感染者が確認されていません(6/1現在)。それでも災害公営住宅の集会所は軒並み閉鎖状態となっており、つなセンが進める孤立を防ぐ居場所づくりにとって大きな障壁となっています。そのため、現在、多種多様な見守り手法を調査しているところで、多様で重層的な見守り機能をどう整備していくかが孤立を防ぐ鍵となりそうです。(新井)

特定非営利活動法人

つながりデザインセンター・あすと長町

〒983-0841 仙台市宮城野区原町五丁目5番35号 熊谷ビル205

TEL 080-3205-5177  
MAIL asuto@tsuna-cen.com  
WEB www.tsuna-cen.com



つなセン  
TSUNAGARI Design Center  
NEWS



塩竈市・錦町東住宅で行われた花植えには、多世代の住民が参加しました

持続可能な住民組織を目指して

つなセンの新型コロナ対策  
あすと長町第三市営(災害公営)住宅「みのり会」への支援  
空き家活用プロジェクトが始動しました  
【団体紹介】特定非営利活動法人仙台傾聴の会



# 活動報告

Main Topic



## 3年目の現在地

宮城県塩竈市内の災害公営コミュニティ

### 1 塩竈市内3箇所での支援

塩竈市内3箇所の災害公営住宅(清水沢東(170戸)、北浜(31戸)、錦町東(70戸))でのコミュニティと住民組織の形成支援が3年目を迎えます。

清水沢東住宅(2016年6月入居開始)では、2018年4月に清水沢東会と清水沢東住宅3号棟自治会の2つの住民組織が発足し、それぞれ住環境管理や親睦会開催など居住者の方々が積極的に取り組み、安定した組織運営が実施されています。また、昨年度から住民による集会所の管理が始まりました。つなセンでは、住民とともに利用者・管理者にとって



▲第3回清水沢東住宅集会所サークル懇談会では、使いやすい利用時間区分などを話し合いました。

使いやすく管理しやすい集会所を目指し、集会所利用グループに集まってもらう懇談会の開催運営サポート、利用実態アンケート調査に取り組みました。

北浜住宅(2017年3月入居開始)では、昨年3月に住民組織が立ち上がりましたが、世帯数が少ないことからできるだけ無理のない運営を心掛け活動しています。集会所の管理が今年度から市より住民に移りますが、住民だけの管理は難しいため、維持できる運営方法とともに探っています。

錦町東住宅(2017年4月入居開始)では、昨年9月に住民組織が立ち上がり、役員を中心に住宅管理、親睦活動が行われています。しかし、住宅専用の集会所がないため活動が制約されています。近隣公営住宅の集会所を借りていますが、鍵の管理や土日利用などで不自由な面があり、住宅会とともに市に改善を働きかけています。



▲2か月に1回の頻度で北浜役員会を開いています。



▲錦町東住宅でピオラと葉牡丹を植えました。

## 2 コロナ禍での住民活動

新型コロナウイルス感染症の拡大により、塩竈市の公営住宅での住民活動にも影響が出ています。各住民組織で、年1回の定期総会の時期と重なり、班長の引継ぎ、役員改選、総会の開催などに苦労しました。緊急事態宣言が解除された今でも、参加者に高齢者が多いことから活動を自粛し、再開のタイミングをつかめないでいるサークル団体もあります。住民の健康維持や親睦を深めるためにも、早急な終息を祈るとともに、再開のサポートをしていきたいと考えています。



▲北浜住宅と錦町東住宅で住民組織が設立してから初めての総会が開催されました。



## 3 3年目終了に向けて

今年度でコミュニティ形成促進事業の終了が予定されており、今年度は側面サポートをしつつ、各住民組織の主体的な動きにシフトしていく必要があります。そのために、各住宅の状況にあわせながら次年度以降の自立運営を可能とするための事務マニュアルの作成、持続可能な組織とするための役員・班長交代システムの基盤づくりに力を入れていきます。

- 2018
  - 2019
  - 2020
- ・居住実態調査
  - ・住宅管理検討会
  - ・住民組織結成
  - ・住民組織運営支援
  - ・持続可能な基盤づくり
  - ・外部団体と連携した居場所づくり

▲塩竈支援3か年計画

会員  
団体紹介  
No.15

## 特定非営利活動法人 仙台傾聴の会



傾聴とは、相手のお話を否定せず、ありのままに受けとめ、反論やアドバイスはせず、相手の心に寄り添って話を聴くことです。仙台傾聴の会は、地域の方々の心に寄り添い、悩みや不安に耳を傾け、安心した生活を送れるよう仙台市や名取市、岩沼市、亶理町、福島県で活動しています。2008年4月に設立し、自殺防止活動に取り組んでいましたが、東日本大震災後からは宮城県医師会の依頼を受け、避難所、仮設住宅、公営住宅へと場所を移しながら、傾聴カフェなどを開き、被災した方々の声に耳を傾け、心のサポートを行ってきました。

人材育成にも力を入れており、毎年傾聴ボランティア養成講座を実施しています。受講者の中には傾聴カフェの参加者から養成講座を受講し、今では傾聴ボランティアとして活躍している方もいらっしゃるそうです。

現在は新型コロナウイルス感染症の影響で活動のほとんどを休止していますが、電話相談の回線・相談日を増設し、相談員が不安やストレスを抱える方の心に寄り添い、耳を傾けています(毎週水金070-2025-8947)。

Topics

### つなセンの新型コロナ対策

つなセンも、4月初旬より原則在宅勤務としましたが、以前からチャット等を使った遠隔でのコミュニケーションは多かったため、事務局内はあまり違和感なく過ごせたように思います。しかし、あすと食堂など、住民の皆さんに呼び掛けて集まるイベントは3月から中止となっています。重症化リスクの高い高齢者が参加者に



多いことや、一緒に食事することなどから慎重になりますが、人と会わない生活が長期化することの副作用も考えていかなければいけません。注意深く、再開に向けて準備を進めていきたいと思っています。

### あすと長町第三市営(災害公営)住宅 「みのり会」への支援

同住宅では、初代居住者組織の解散を経て、昨年5月に住宅管理を担う「みのり会」が立ち上がりました。今年6月14日に定期総会を開催予定で準備などのお手伝いを行っています。同住宅も例外にもれず役員の担い手不足が深刻で、特に負担の大きな会長職のなり手がおらず、今年度は4名の共同代表というかたちで運営していくことになりました。またコロナの影響で、閉鎖状態の集会所も改めて「みんなの居場所」となるよう、つなセンで支援しながら、孤立しないコミュニティづくりを進めていく予定です。



### 岩沼市・空き家活用プロジェクトが始動

岩沼市にある築23年延べ床面積200平米の木造家屋を社会貢献活動に活用したいと家主の方からつなセンに相談があり、視察に行ってきました。開放的なエントランス、カフェのような対面キッチン、広いリビングに2間続きの和室、2階の各部屋はプライベートが守られた造り、壁一面の本棚や2階専用のミニキッチンなど、様々な活用の想像が



膨らむ物件でした。今後は玉浦西地区での支援活動の度にご協力頂いている、岩沼市内子育て支援団体の代表三浦未穂さんにもご協力頂き、子育て支援を軸とした地域交流の場として活用の仕方を検討していく予定です。

つなセン事務所移転のお知らせ



長町事務所の建物解体に伴い、仙台市内の通称「熊ビル」に移転しました。築50年以上の熊ビル全体の再生にも、着手していく予定です。詳しくは次号以降で。